

## 都市計画事業に要する経費と都市計画税

都市計画税は、都市計画事業（街路、公園、下水道など）の費用に充てるために負担していただく税金です。  
令和4年度は、街路、下水道などの事業と都市計画事業のために借り入れた地方債の償還に充てられました。  
事業に充当された一般財源に占める都市計画税の割合は、98.0%となっています。

年度	都市計画事業費	地方債償還額	計	充当一般財源A	うち都市計画税B	充当率B/A
R2	1,047,404	267,428	1,314,832	1,235,982	1,142,432	92.4
R3	974,924	230,863	1,205,787	1,153,383	1,129,851	98.0
R4	992,809	207,037	1,199,846	1,168,295	1,144,578	98.0

## 特別会計決算（見込み）

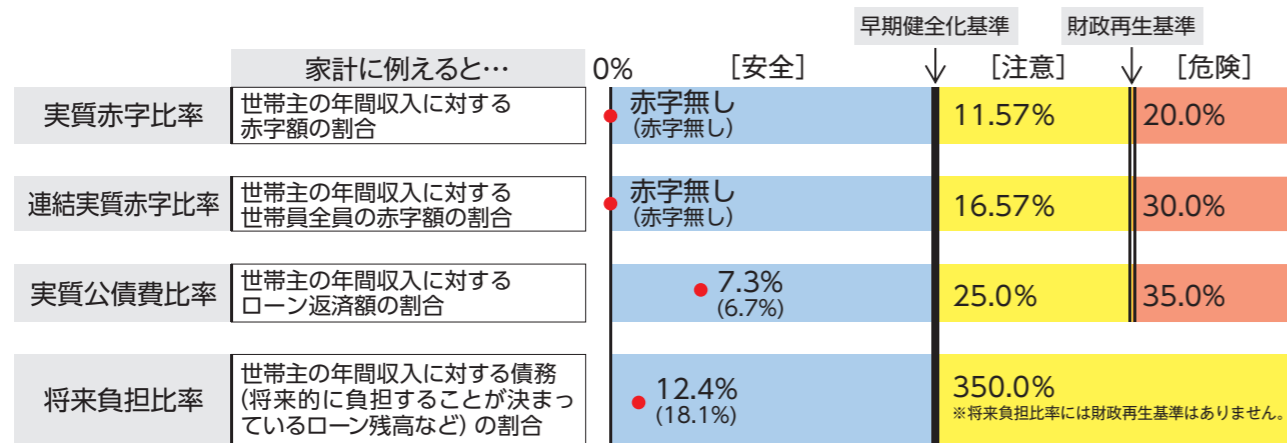
特定の事業を行うために一般会計とは別に独立して経理が行われる会計です。令和4年度は10の特別会計があります。

区分	歳入額	歳出額	差引額
港湾事業	2億29万円	1億8492万円	1536万円
国民健康保険事業	147億7771万円	147億1147万円	6624万円
千光寺山索道事業	9414万円	9414万円	0円
駐車場事業	7658万円	7658万円	0円
夜間救急診療所事業	7724万円	7724万円	0円
介護保険事業（保険事業勘定）	170億2129万円	166億3250万円	3億8879万円
介護保険事業（介護サービス事業勘定）	2124万円	2124万円	0円
漁業集落排水事業	4170万円	3422万円	749万円
農業集落排水事業	5650万円	5099万円	551万円
渡船事業	4650万円	4650万円	0円
後期高齢者医療事業	24億5271万円	24億114万円	5157万円
合計	348億6589万円	343億3093万円	5億3497万円

## 財政の健全度

### 健全化判断比率

令和4年度決算に基づく各比率は、すべて国の基準を下回っており、尾道市の財政はおおむね健全です。



指標	解説
実質赤字比率	標準財政規模 <sup>(※1)</sup> に対する一般会計等 <sup>(※2)</sup> の赤字の割合
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合
実質公債費比率	標準財政規模に対する公債費 <sup>(※3)</sup> の割合
将来負担比率	標準財政規模に対する市が将来負担すべき負債の割合

※1 地方公共団体が標準的な行政サービスを提供するために必要な一般財源(使い道の決まっていない財源)の大きさ。  
※2 一般会計に港湾事業・夜間救急診療所事業特別会計を加えたもの。  
※3 地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金。

### 資金不足比率

公営企業ごとの収入に対する赤字額の割合です。尾道市は、すべての公営企業で赤字は発生していません。今後も、引き続き持続可能な財政運営に努めていきます。

## 企業会計決算（見込み）

事業で得られる収入で支出をまかなう会計です。水道・下水道・病院の3つの会計があります。

### 水道事業

上下水道局経営総務課 (☎0848-37-8701)

#### 【収益的収支】

事業収益では、給水収益は減少しましたが、水道基本料金減免（新型コロナウイルス感染症に起因する生活支援）に係る一般会計負担金の特別利益計上などにより、8949万4千円(2.4%)の増収となりました。一方、事業費用では、動力費の増加に加えて、水道基本料金減免に伴う特別損失計上により、1億5955万1千円(4.6%)の費用増となりました。その結果、収支差引1億3611万1千円の純利益を計上することとなりました。

#### 【主な建設改良事業】

老朽化した管・施設の更新により耐震化を行いました。

損益計算書 R4.4.1~R5.3.31 (単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	344,182	水道料金収入	3,147,510
物件費	497,490	受託工事収益	3,000
受水費	1,465,153	受託管理収益	115,950
支払利息	68,134	長期前受金戻入	263,900
減価償却費	976,216	その他	91,296
その他	134,347	特別利益	130,623
特別損失	130,646		
当年度純利益	136,111		
合計	3,752,279	合計	3,752,279

### 下水道事業

上下水道局経営総務課 (☎0848-37-8701)

#### 【収益的収支】

収支差引は11億1633万4千円の純損失を計上しましたが、浄化センター用地の一部(東尾道市民スポーツ広場)を一般会計へ無償移管したことに伴う特別損失計上が要因であり、経常収支では2502万5千円の黒字となっています。

#### 【主な建設改良事業】

下水道計画区域内の未普及地区解消や雨水の適正処理のため、高須地区・天満地区・新浜地区などを中心に管渠築造工事を行いました。

損益計算書 R4.4.1~R5.3.31 (単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	94,552	下水道使用料収入	391,984
物件費	428,624	雨水処理負担金	273,592
支払利息	109,534	受託事業収益	181,035
減価償却費	863,794	長期前受金戻入	484,396
その他	148,766	その他	339,288
特別損失	1,141,557	特別利益	198
当年度純利益	△1,116,334		
合計	1,670,493	合計	1,670,493

### 病院事業

市民病院経営企画課 (☎0848-47-1155(代))

公立みつぎ総合病院経営企画課 (☎0848-76-1111(代))

#### 【収益的収支】

市民病院は、事業収益77億4910万2千円に対し、事業費用77億6221万8千円で、差引1,311万5千円の損失が生じました。

公立みつぎ総合病院は、その他特別利益を含め、事業収益64億7389万5千円に対し、事業費用65億840万円で差引3,450万6千円の損失が生じました。

#### 【市民病院】

地域の医療機関と連携し、医師を中心とした多職種協働によるチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めました。また、高度・多様化する医療需要に対応するため、各種医療機器や医療用画像管理システムの更新を行い、病院機能の強化と患者サービスの向上に努めました。瀬戸田診療所では、これまで同様に地域で求められる医療の提供に努めました。

#### 【公立みつぎ総合病院】

地域包括ケアシステムの構築により、救急医療及びび病の治療から

損益計算書 R4.4.1~R5.3.31 (単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	8,468,558	入院収益	6,990,789
物件費	1,992,211	外来収益	2,438,113
支払利息	51,057	その他医療収益	3,021,402
その他	3,732,167	その他	1,568,597
特別損失	26,625	特別利益	204,096
当年度純利益	△47,621		
合計	14,222,997	合計	14,222,997

貸借対照表 R5.3.31現在 (単位：千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	25,265,162	固定負債	4,974,392
無形固定資産	2,571	流動負債	934,401
流動資産	3,350,443	繰延収益	4,707,580
		資本金	13,643,906
		資本剰余金	638,270
		利益剰余金	3,719,627
		減債積立金	260,000
		建設改良積立金	1,920,000
		当年度未処分利益剰余金	1,539,627
		繰越利益剰余金	703,516
		その他未処分利益剰余金変動額	700,000
		当年度純利益	136,111
合計	28,618,176	合計	28,618,176

貸借対照表 R5.3.31現在 (単位：千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	25,605,553	固定負債	9,322,717
無形固定資産	2,780	流動負債	926,573
流動資産	500,198	繰延収益	13,496,984
		資本金	1,776,820
		資本剰余金	1,836,348
		利益剰余金	△1,250,911
		当年度未処分利益剰余金	△1,250,911
		繰越利益剰余金	△134,577
		当年度純利益	△1,116,334
合計	26,108,531	合計	26,108,531

地域住民の健康づくり、介護予防、リハビリテーション、在宅ケア、さらに介護・福祉までのシームレスなサービスを提供してまいりました。主な事業として、設備改修や医療機器等の更新を行い、医療提供体制の充実を図りました。

両院とも、新型コロナウイルス感染症に対する検査機能や診療機能の整備を行い、相互に連携を取りながら、感染拡大の防止に努めました。

地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供するために、引き続き医療提供体制の充実と経営の効率化を図り、地域の中核病院としての役割を果たしてまいります。

貸借対照表 R5.3.31現在 (単位：千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	12,343,983	固定負債	7,623,529
無形固定資産	1,970	流動負債	2,298,469
投資	456,072	繰延収益	1,776,051
流動資産	7,578,334	資本金	8,399,181
		資本剰余金	212,465
		利益剰余金	70,664
		減債積立金	438,000
		建設改良積立金	100,000
		当年度未処分利益剰余金	△467,336
		繰越利益剰余金	△419,715
		当年度純利益	△47,621
合計	20,380,359	合計	20,380,359